障害のある方の支援について、お困りごとはございませんか？

ご連絡お待ちしております。

国立のぞみの園における

「強度行動障害支援の取組み」

を紹介いたします

強度行動障害

への支援

有期限入所

強度行動障害の方を受入れ、ご本人の特性などアセスメントを実施し、行動障害軽減に向けた支援構築を目指します。

講師派遣

「強度行動障害の支援方法」や「事例検討」などの研修における講師派遣を行います。

援助助言

「支援」や「制度」に関する疑問や困りごとの相談に応じます。

（独）国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
事業調整部　事業調整課　地域移行・支援調整係

☎ 027−320−1602（直通）
Mail：webmaster@nozomi.go.jp

のぞみの園における
強度行動障害支援の取り組み

食事エリア

構造化

構造化とは、空間や時間、さまざまな活動などを整理して視覚的に分かりやすく伝えるための工夫です。構造化により障害に起因する様々な苦手さを補います。

ワークシステム

自立課題

はじめから終わりまで、可能な限り自分ひとりで行うことが出来るよう設計された課題作業のことを言います。自尊心を育んだり、精神の安定をもたらす効果があります。その人に合った課題は適切なアセスメントに基づいて作成されています。

課　題

作業の様子

居室

日中活動

一人ひとり、作業に集中できるように配慮された環境と様々な活動が用意されています。平日の午前と午後、居住の場を離れて作業に取り組むことは心地よい疲れを誘い、規則正しい生活を送るための重要な活動です。

国立のぞみの園における

「有期限入所事業　入退所の流れ」

を紹介いたします

国立のぞみの園　有期限入所受入れまでの流れ

問合せ

相談/助言受付

・事業概要説明
・本人状態像確認
・地域支援体制の確認

入所申込み

待機申請

・ワークシート※
・個人調査票
・行動評価表　等

※ワークシートとは、支援員が支援をするための質問用紙。

・ワークシート
・個人調査票
・行動評価表　等

について

質問状送付

訪問・面接 支援会議

・本人の状態像確認
・本人への意思確認

法人内 検討会議

短期入所 受入れ前会議

・国立のぞみの園の支援について説明
・契約
・当日の動き、持ち物

短期入所開始

国立のぞみの園で
・特性理解
・環境調整
・マッチング（支援内容/人）
・環境変化への適応　等
のアセスメント※（30日間）

入所利用審査会

受入れ可能

国立のぞみの園で
有期限で施設入所支援開始

受入れ不可能

短期入所で支援終了

※アセスメントとは、本人の環境を観察・記録し活用するプロセス。

国立のぞみの園　退所に向けた支援について

本人紹介

（移行候補先事業所等
とのオンライン会議）
支援会議

・サポートブック※
・本人状況説明の
動画視聴

※サポートブックとは、その人の特性や支援方法を伝えるためのガイドブック。

本人面接

（移行候補先事業所）
国立のぞみの園来園

生活の様子/作業場面等

又は

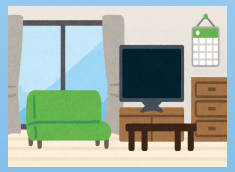
移行先訪問

受入れ決定

OK

移行先での宿泊体験（短期入所・体験利用）

・居室の環境設定・スケジュール※の提示
必要に応じて職員が
数時間～1泊程度滞在してサポート



※　スケジュールとは、写真等を貼り1日の予定を一目でわかるようにしたもの

希望に応じて

支援の引継ぎ

現任研修
（国立のぞみの園）

・実際の支援の様子
・支援技術の習得
・本人との関係性

移行先訪問
（移行の準備）

・環境確認・助言
・絵カード作成
のための写真撮影

※職員のみ

講師派遣
（職員研修）

「強度行動障害の支援」等、職員の専門性の向上を図るため講師派遣を行います

移行先
最終決定

受入れ不可能

移行先
最終決定

受入れ可能

国立のぞみの園　フォローアップについて

ご希望に応じて

移行後1年程度は、国立のぞみの園から電話などで定期的フォローアップを行います

1か月　3か月　6か月　1年

上記以外に

・オンラインでの支援会議

・直接訪問しての支援会議（移行先施設における交通費負担）

・障害者に関する研修会等の講師派遣（有料）

・支援方法等に関するアドバイザー等の派遣（有料）にも対応します

※　講師・アドバイザーの派遣については、国立のぞみの園ホームページ

「**講師派遣**」参照　https://www.nozomi.go.jp/assistance/index.html

1年経過後も、必要に応じてアドバイザー派遣によるフォローアップ継続可

有期限入所（強度行動障害）事業【流れ】

入所前 → 短期入所 → 入所 → 退所 → 退所後

入所前調整

相談受付
・事業概要説明
（本人/関係者等）
・地域支援体制の確認
・利用申込(短期入所)

事前の情報整理
❶情報共有(書面等)
ワークシート
個人調査票
評価票
ご本人映像

❷情報共有(WEB会議)

入所利用調整会議
※基本的には全て受入

受入れ準備
事前情報に基づく
・環境整備
・特性への配慮
・スケジュール
等

アセスメント

短期入所利用開始

目的/評価
・支援の導入
・事前情報/実際評価
・マッチング
（支援/人）
・環境変化への適応

他の効果
・関係機関の
レスパイト
・支援の組立て直し

入所利用審査会

施設入所支援開始

又は

※短期入所で
支援終了

関係機関の流れ

・本人状態の整理
・環境調整

・退所先と
引継ぎスケジュールの確認
・支援効果の評価(PDCAｻｲｸﾙ)
・自治体による協力体制の整備

・退所先の決定
・移行先環境調整
・支援効果の評価
・支援引継ぎ

（移行のための
引継ぎ内容）

サポートブックの作成
現任研修受入れ／WEB強行研修実施
WEB支援会議で引継ぎ
地域生活体験・適時

（関係者と定期的な情報共有）
・個別支援会議　入所後(1か月/6か月/1年/1年半/2年)開催（集合会議 又は WEB会議）
参加者　本人・保護者（後見人）・自治体職員・相談・事業所職員・国立のぞみの園職員

暮らしの流れ（国立のぞみの園）

導入期	構築期	展開期	定着期
食事や睡眠を中心としたADLが安定し、安全に1日を過ごす段階	生活寮の中で日中活動を行う等、適切な生活リズムを整える段階	生活寮を離れ、午前及び午後と日中活動場所へ通う段階	安心して落ち着いた暮らしを送る段階(移行期)
急性期寮の最初の役割として、安全・健康の保持が重要	服薬調整やアセスメントを進める中で日中活動の準備を整える、まずは自立課題から	午前２時間、午後２時間と一日４時間取組むことが理想。独りで通棟出来るとベスト	静かな環境で落ち着いた生活を提供

移行

退所後調整フォローアップ

・相談　（電話、WEB）

・講師派遣
（事例検討、強行研修）

・現地派遣～ｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝ
（直接援助/環境調整等）